

天神様の細道

悪夢のように思い出す

出征兵士を送る歌

日の丸が打ち振られる中

誇りと勇気と決意の塊が

目を潤ませて出て行った

アメリカと競っていた経済力も落ち込み

新興国も含めて新たな列強たちが

形振り構わず「資本ゲーム」に参加する中

GNPが落ち込んだと日本列島が真つ青になって

国会議事堂も揺らいでいる

新しい状況と呼ばれる懐かしい悲惨な昔物語が甦る

無数の出征兵士たちが夢枕に立ち

遺骨になつて帰つて来た

満州に天国を作ろうと旅だった企業戦士たちも

追われよろめき、命からがら逃げ帰つて来た

行きは良い良い帰りは怖い

天神様の細道が

怖いもの見たさの若者たちを

また誘惑するようになったのだろうか

怖いながらも通りゃんせ通りゃんせ

サイコロ振る場が無くなると

事情分からぬ地方の賭場に目をつける

人情深い親分さんのお世話になつて一宿一飯

見えなかったよ親分さんの周りの事情など

突然起こる切ったはったの刃傷沙汰

国の産業を盛んにするためと言われ

国のため会社のためと言われるが

派遣だ、社員だ、重役だ、とレッテルはいろいろ

帰つて来る遺体にも、身分がいろいろあるようだ

戦場への出征だと知って行くのは兵士だけで良い

新エネルギーだ、ガスだ、金になる鉱石だと

眼の色変えて行つてみるが、そこは市場ではなく戦場だ

気付いたら戦場だった、なんて、歌にもならない

フォークにもならない御帰還など、もう御免

天神様の細道には目を瞑つて、帰りゃんせ、帰りゃんせ

(2013.1.27)